

令和4年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口 俊憲
講座名	中小企業のための生産改善・革新セミナー 「コミュニケーションスキル向上とマニュアル作成」による情報共有
実施日時	① 令和4年10月5日（水） 18:00～21:00
	② 令和4年10月12日（水） 18:00～21:00
	③ 令和4年10月19日（水） 18:00～21:00
	④ 令和4年10月26日（水） 18:00～21:00
	⑤ 令和4年11月2日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（最大10名程度まで）
募集対象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注 意 点	<p>「中小企業のための生産改善・革新セミナー」は企業などの現場改善を行う同一講師が全て担当しています。6つのコース全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」と一部連携しています。現場の課題解決に具体的に組みたい方は<u>産業技術専攻科の活用</u>もご検討ください。</p> <p>※原則対面での実施ですが、社会状況に応じてリモートで開催する場合があります。</p>
講 座 内 容	<p>現場での仕事を円滑に進めるためには適切な情報共有が不可欠です。また、現場改善を進める上で、現場の状況を把握する対話、そして改善策を理解し、実行してもらうための情報伝達など、コミュニケーション能力が非常に重要となります。この意思疎通を誤りなく行うためには、発話コミュニケーションだけでなく、標準作業書、マニュアルの作成などの文書による情報伝達も注意する必要があります。</p> <p>本講座では、担当者が行った実験、講義で取り組んできた結果、様々な文献に基づき、誤りなく伝達を行うための会話の仕方、マニュアルの作成方法を体験的に習得します。なお、この講座で用いているコミュニケーショントレーニングツールは担当者が開発したもので、様々な企業の研修でも使用しています。</p>
目 標	現場において品質管理の手法を活用し、品質改善に取り組む事ができる。 品質管理手法の使い方について現場作業員に対して教える事ができる。

履 修 項 目	①情報共有とは「状況認識・知識と知恵・意識の共有と共感」	(2時間)	
	②コミュニケーションの失敗による影響	(1時間)	
	③コミュニケーションとは伝わったかの確認	(1時間)	
	④発話による情報伝達演習	(3時間)	
	⑤文書による情報伝達演習	(3時間)	
	⑥マニュアル・標準作業書の作成方法と管理	(3時間)	
	⑦組織における効果的な情報共有	(2時間)	
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし		
受 講 費 用	受 講 料 : 6,900 円 (15 時間コース)		
	自己負担 : 円 (テキスト : 円・材料費 : 円)		
講座費用	報 償 費 円	印 刷 製 本 費 円	材 料 費 円
	費 用 弁 償 円	消 耗 品 費 円	通 信 運 搬 費 円
	普 通 旅 費 円	使 用 賃 借 料 円	
そ の 他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「コミュニケーションスキル」などに関する講義・実習の受講を一部免除します。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>本セミナーの担当講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後約 20 年、生産など様々な現場の改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら 10 年以上開講し、延べ 700 名を超える方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>基本的に対面での実施を予定しておりますが、状況に応じて遠隔などで実施することがあります。</p> <p>*定員を超える申し込みを頂くことあるため、最大受け入れ人数を 10 名としました。</p>		